

## 「生きる力」を育む教育

### 変化する社会と

### 変わらない親心



（公社）全埼玉私立幼稚園連合会  
会長 松尾 創

皆様、こんにちは。  
さて、今回は現代の子育てについて、少し掘り下げて考えてみたいと思います。

#### 〈変化する社会と子育て〉

私たちが生きている社会は、テクノロジーの進歩やグローバル化など、目まぐるしく変化しています。

このような社会の中で、子どもたちは多様な価値観や情報に囲まれながら成長していきます。

昔とは違い、子どもたちの遊び方も、学ぶことも、そして親子の関わり方も大きく変わってきているのではないのでしょうか。

#### 〈子育てを取り巻く環境の変化〉

\* 情報過多の時代：インターネットやスマートフォンなど、情報にアクセスできる環境が整っている一方で、情報過多による弊害も懸念されています。

\* 多様な価値観：昔は一つの

価値観が主流でしたが、現在は多様な価値観が認められる社会となっています。

\* 核家族化：核家族化が進み、一人っ子や兄弟姉妹が少ない家庭が増えています。

#### 〈変わらない親心、そして求められるもの〉

社会が大きく変化しても、親心は変わりません。

子どもたちが健やかに成長し、幸せに生きてほしいと願う気持ちは、どの時代も共通です。

では、現代の子育てにおいて、親に求められるものは何でしょうか。

\* 子どもの個性を尊重すること：一人ひとりの子どもは、それぞれ異なる個性を持っています。

\* コミュニケーションを大切にすること：子どもの話をよく聞き、共感することが大切です。

\* 保護者同士のつながり：情報交換や悩みを共有できる場

を持つことは、子育ての大きな支えとなります。

#### 〈幼稚園・子ども園の役割〉

幼稚園・子ども園は、子どもたちの成長を支える大切な場所です。

集団生活を通して社会性を養い、様々な体験を通して学ぶ機会を提供しています。

また、保護者の方々には、子育てに関する相談や情報提供を行い、共に子どもたちの成長を見守っていきます。

#### 〈むすび〉

現代の子育ては、昔とは比べものにならないほど複雑になっています。

しかし、大切なのは、子どもたちへの変わらぬ愛情と、子どもたちと共に成長していくことです。

幼稚園・子ども園は、保護者の皆様と力を合わせ、子どもたちの未来を明るく照らしていきたいと考えています。

皆様が、笑顔あふれる子育てを送られますように！

#### 「教育」の方向性

若山 清和

私たちの仕事の本質は「福祉」ではなく「教育」であり、幼稚園は、集団生活で得られる社会性や協調性を与えるなど、家庭だけでは得づらい社会環境を、幼児期に補完する学びの場です。

そこで「福祉」を根拠とする保育園と、「教育」を根拠とする幼稚園は、似ているようですが、全くベクトルが異なります。

というのも、福祉の目指す方向は高齢者への「介護サービス事業」のように、社会全体で弱者を守る、包んであげるという「サービス業」。

それに対して、「教育」の目的は、「自主」、「自律」、「自立」であり、幼い未熟な存在の子どもを、社会で活躍し、自らが逞しく、社会を支え、逆に世の弱者を支える存在に育てよう、ということになります。

ですから子どもへのアプローチを、「保育サービス」の観点で「お子さま」として、ずっと弱者として社会で守り続ける存在であるだけでは、果たして子どもの将来の幸せに繋がるのだろうか、と感じます。

教育には「教育」「共育」「協育」、「強育」と、各園の方針により様々な手法やアプローチがありますが、共通するのは家庭も園も社会全体を支える逞しい人づくりの方向は忘れずいたいと思います。



# Let's 親子で運動遊び!!



冒頭から、お読みいただいている皆さんに、日々、家事やお仕事、その他諸々を抱えておられることを承知のうえで、お聞きします。

「お家や公園などで、お子さんと体を動かして遊んでいますか？」

いかがでしょうか？

私は、仕事柄、親子で体を動かす遊び(以下、運動遊び)で遊ぶという講座やイベントに招かれ、親子の皆さんと一緒に遊ぶという機会に恵まれています。そういった親子の運動遊びを通じて感じることは、親子の運動遊びには不思議な魅力があるということです。どうということかという、遊び始めは、子どもたちはノリノリ、お母さんやお父さんは少し遠慮気味です。しかし、親子一緒に運動遊びで遊んでいくうちに、お母さんやお父さんにあった遠慮の壁はいつの間にかなくなっています。そして、会場には『瞳をキラキラさせながら、大好きなお母さんやお父さんと遊ぶ子どもたちの楽しそうな、嬉しそうな笑い声』が溢れ、お子さ

んと一緒に遊ぶお母さんやお父さんたちの『弾ける笑顔』も会場の至る所で目にするようになります。子どもたちよりもお母さんやお父さんの方が、お子さんとの運動遊びを楽しみ、積極的にお子さんとスキンシップをとり、お子さんに「大好き光線」を浴びせているように思います。遊び終了後には、子どもたちからは「お母さんやお父さんと遊べて楽しかった」、お母さんやお父さんからは「子どもの成長を感じることができた」、「子どもと沢山触れ合うことができた」といった声を耳にします。親子で遊ぶ運動遊びには、遠慮の壁を取り除き、親子で楽しい時間を共有しながら、お子さんの成長を実感し、親子の絆もより深められるという素晴らしい魅力があります。

**是非、お子さんと一緒に運動遊びで遊んで、この魅力を体験してみてください。**

ところで、この親子の運動遊びの魅力を存分に味わうためには、ちょっとコツがあります。それは『遊

びにのめり込み、夢中で遊ぶ』ことです。では、「遊びにのめり込み、夢中で遊ぶ」ためには、どうすればよいのでしょうか？ここからは、そのポイントをいくつかお伝えしていきます。すぐにできる簡単なポイントとなっています。

まずは、「できた」、「できない」といった結果を周囲の大人が重視しないことです(子どもたちにとっては、「できた」ことが遊びの楽しさに繋がりますので、子どもたちには大切な遊びの要素です)。それよりもお母さんが、運動遊びを通じて、「体を動かす遊びって面白い、もっとやりたい」と感じるものが何よりも大切です。そのためには、お子さんが思うようにできない場合には、「ナイスマイレージ」と取り組んだことを認めるような言葉を、思うように遊べるようになれば「さっきよりも、カッコ良いよ」と変化を認めるような言葉をかけてみてください。きつと、お子さんは、本当に嬉しそうな笑顔を見せてくれると思います。

次に、「どうしてカッコ良くできたの？教えて」と聞いてみてください。お子さんは思うようにできた理由を考え、「こうしたらできたよ(気づき)」と教えてくれます。お子さんの中で整理がつかない場合は、あえて答えは伝えず、「ヒントを出す」、「考えがまとまるまで待つ」といった方法で、考えを整理することを手伝ってあげてください。お子さんは、自らが考えた「気づき」を遊びに取り入れ、遊びをドンドン深め、遊びにのめり込んでいきます。もしかしら、できるようなったことを「みて、みて」と言って見せてくれるかもしれません。もちろん、お子さんが見つけた「気づき」が見当違いなことも往々にしてあります。そんな時は、お子さんが思い描いたようにできなかつたり、まったく違う遊びになつたりすることもあります。でも、思い通りにいかない経験、遊びが予想もつかない内容に変わっていくこと、それも遊びの醍醐味です。で、見守ってあげてほしいと思います。

次は、ネガティブな言葉や「しなさい」といった命令口調を使わないことです。それを使うだけで、大好きなお母さんやお父さんとの折角の運動遊びの楽しさ、面白さが半減してしまいます。

3つ目は、「遊びを足し算」する



共栄大学専任講師



山梨大学大学院修士課程、日本体育大学大学院博士後期課程を修了し、現在は、共栄大学にて専任講師として教鞭を取っている。専門分野は、発育発達学、運動発達学、体育科教育学。子どもの体力・運動能力や運動発達、運動遊びや体育授業について研究する傍ら、全国各地で親子を対象に運動遊びで遊ぶ講座やイベントの講師を務めている。

幼稚園で遊ぶこと

例年にならない酷暑の夏でした。厳しい暑さは何日も続いてきた頃、子どもからこんな言葉が聞こえてきました。「先生、今日も暑いからお外では遊べないよね」雨さえ降らなければ毎日外で遊んでいた子ども達が、暑さ対策のため外遊びの時間を制限されていることを理解し、残念と諦めの気持ち

ことです。例えば、キャッチボールで遊ぶ場合、最初からボールを投げること・捕ることで遊ぶ必要はありません。最初はボールを転がす遊びから始めて、「上手にできたね。少し難しくしようかな」と次は軽く投げるといったように、少しずつ遊びをステップアップ(遊びを足し算)していきます。「遊びを足し算」することで、チャレンジしたい、やってみたいというお子さんの遊び心をくすぐり、お子さんは、いつそう遊びの世界にのめり込んでいきます。そして、最後のポイントです。こ

れが『遊びにのめり込み、夢中で遊ぶ』ための一番のポイントで、最も簡単にできることです。それは、遊んでいる最中、なるべく沢山、お子さんと『ハグ』や『ハイタッチ』をすることです。最初は気恥ずかしいかもしれませんが、まずは1回『ハグ』や『ハイタッチ』してみてください。あつという間に、親子の絆がより深まり、運動遊びがもっともっと楽しくなっていきます。騙されたと思って、お子さんと『ハグ』や『ハイタッチ』をしてみてください。お父さんもお母さんや

お父さんの心がほっこりと満たされ、温かくなります。お家や公園などでできる親子の運動遊びは、インターネットやSNS等で山ほど紹介されていますので、調べてみてください。日々、お忙しいかと思いますが、ご紹介したポイントを参考にしていたいただきながら、是非、親子で『運動遊びにのめり込み、夢中で遊んでください』。きっと、お子さんの成長を感じ、より親子の絆も深まるはずです。さあ、『Let's 親子で運動遊び!!』

吹上中央幼稚園 島田 るみ

ちのこもった溜息を聞いていました。戸外での遊びを奪われた子ども達を見て、「太陽と土と水さえあれば、子どもは充分に遊べるのだ」と言っていた先生の教育者の言葉を思い出し、胸の詰まる思いでした。二期になり、園庭で思い切り遊ぶ子ども達の姿が戻ってきました。そのなか

に、毎日ひたすらしっぽ取りをして遊ぶ子ども達があります。「なぜ、こんなにしっぽ取りに夢中なんだろう」担任からの答えは、この子たちは年中の時、よく年長さんのしっぽ取りの仲間に入れてもらっていて、そんなしっぽ取りをする年長さんの姿に憧れていたみたいなんです、とのことでした。太陽と土と水、そして子ども達がいれば、こうして刺激を受け合いながら子ども達は自ら新しいこと

を見つけ出して挑戦していくのだと、再び先生の言葉を思い出しました。ところで、当園では保護者の方を対象に、幼稚園先生の日体験活動を実施しています。参加した保護者の方は、たくましく遊びまわるとも、子ども達のパワーについていけないと口を揃えます。しかし、しっぽ取りなどに誘われ、必死に子ども達を追いかける保護者の額に輝く汗を見るにつけ、このような生き生きと楽しむ

ことのできる保護者に見守られて保育をおこなえることの幸せを感じます。これからも絶えず環境は変化していくでしょうが、柔軟に対応しながら、子ども達の成長の糧となる遊びを見守り、その展開を楽しみにしたいと思えます。



# 子育てで学んだこと

エゴの押しつけは逆効果

かなくほごも園 キマリ

金沢公江

ピンチはギフト

松山南幼稚園

鹿野舞子

幸せは今ここにある

銀鈴幼稚園

菅野ひかる

みんな違って  
みんなかわいい

認定こども園

泉の森

田村麻衣

我が家には、息子が二人います。

子どもが成長するにつれ、子どもも自我が芽生え、私に反抗することが多くなり、つい子どもに対してイライラしてしまい、自己嫌悪になる日もありました。試行錯誤した結果、子どもが反抗した時は、私の思いを強要するのではなく、子どもの意思を尊重した方が、子どもは、素直に私の思いを聞き入れてくれることに気が付きました。

子育てにおいて、「親のこだわりは捨てる」「親の思い通りにはいかない」ということを学びました。

子育ての悩みは尽きず、親として出来る事は、あつという間なので、子どもの成長を楽しみながら、私自身も親として成長していきたいと思えます。

子育てでの学びは、「イライラは思い込みのしわざ」です。そのことに気づいた

きっかけは、すでに二児の子育てで心底疲れ切っていたところに来た第二子の病気の発覚と第三子妊娠。ついに、ストレスの限界を突破したその時、私には「母親や子どもは、こうであるべき、こうでなければならぬ」という思い込みがある」と気づきました。しかもそれは、自分だけでなく、周りに対しても無意識に求めては、それに反するとイラッとするたちの悪さ。そのことに気づいてからは、イラッとしたら、自分の思い込みをみつめて「手放す」をしています。三人の子どもたちが身を持って私にこのことを気づかせてくれたことに、心から感謝しています。ありがとうございます。

最近、娘たちは自分の幼い頃の写真を見るのがブームだ。写真を眺めながら「かわいかった?」「今とどっちがかわいい?」と聞かれるたび、私は「前も可愛いけど、今の方がもっと可愛いよ」と答える。すると、二人は「っこり。今ではお決まりのやりとりになっている。子育てにいつか区切りがくると分かっている、私は日々疲れ果て、些細なことに苛立ち、自分自身にがっかりする。ただ、この目の前の我が子が、私を親にしてくれて、毎日新しい気づきを与えてくれる。育児に費やす時間が、実は私自身にとっても、かけがえのない時間だと気づかされる。「今が一番可愛い」と思わせてくれる娘たちと一緒に、今この瞬間を大切に生きていきたい。

うちには二歳差の男の子がいますが、気質や感情表現の仕方が面白いほど違うのでとても戸惑い、驚きの連続です。同じように育てているつもりでも、同姓の兄弟であっても一人一人に生まれ持った「個性」があるのだと、今、身をもって実感しています。

先生方はそれを見抜いてくださり「兄弟だから」という見方をせず、それぞれを笑顔にする声かけや丁寧な対応をしてくださるので本当に感謝しています。よく「誰に似たの?」と思うことがあります、子どもたちは誰の分身でもないと気付かされます。

その子「らしさ」を「強み」にできたら幸せだと思えるのでそれに多く気付いてあげられるよう子どもとの時間を大切にしたいです。

## マイコプラズマ肺炎が流行しています

厚生労働省より10月8日付で各都道府県にマイコプラズマ肺炎に関する注意喚起についての連絡がありました。国立感染症研究所の調査によると、マイコプラズマ肺炎の感染が過去10年間で最も多い状況であること。埼玉県が関東で突出して感染が拡大しているとのことです。

### マイコプラズマ肺炎とは

頑固なせきをともし呼吸器感染症。小児や若い人に比較的多い。



マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多いものの一つです。例年、患者として報告されるもののうち約80%は14歳以下ですが、成人の報告も見られます。マイコプラズマ肺炎は1年と通じてみられ、秋冬に増加する傾向があります。

### 主な症状

発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、せきなどの症状がみられます。(せきは少しおくれ始めて始まることもあります)。せきは熱が下がった後も長期にわたって(3〜4週間)続くのが特徴です。肺炎マイコプラズマに感染した人の多くは気管支炎で済み、軽い症状が続きます。(一般に、小児の方が軽症で済むと言われています)が、一部の人は肺炎になったり、重症化したりすることもあります。5〜10%未満の人で、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を併発する症例も報告されています。

### 感染経路

感染した人のせきのしぶき(飛沫)を吸い込んだり(飛沫感染)、感染者と接触したりすること(接触感染)により感染すると言われています。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2〜3週間くらいとされています。

### 予防と対策

普段から流水と石けんによる手洗いをしっかりとしましょう。感染した場合は、家族間でもタオルの共用は避けましょう。せきの症状がある場合には、マスクを着用するなど「咳エチケット」を守ることを心がけましょう。秋の終わりから冬にかけてインフルエンザも感染のピークを迎えます。発熱や倦怠感、せきなどの症状がある時は、早めに医療機関に電話して受診するようにしてください。(参考) 厚生労働省ホームページ



# わが子の成長を感じるとき

素敵な贈り物

認定こども園

いなほ幼稚園  
高橋彩夏

我が家の年中の息子は体を動かす事も好きですが、ブロックや粘土などの制作も大好きです。幼稚園に入ってからさらに絵画や工作が増え上達したなど感じていました。息子の似顔絵は口を大きくUの字に描くのでとても可愛い顔になります。敬老の日にも幼稚園で作品を作ってきたのですが、可愛いおばあちゃんの顔が描けていました。周りにハートマークが描かれていたり、「ばばの好きな紫にしたんだよ」との言葉通り折り紙で作った紫色のコスモスがついていました。どんな物を貰ったらその人が嬉しいか。そんな事を自分で考え、作れるようになったのか、と感慨深くなりました。これからも沢山の事を学び成長する姿を見守りたいと思います。

一つできたが大きな自信に

認定こども園

ふじま幼稚園  
忍田咲希

次男はいつも2歳上の兄の背中を追って過ごしてきました。甘えん坊で気分屋な息子は、兄が進学するタイミングで気持ちが不安定になり、年中組になってから、保育室にいられないことが多くなりました。そんなタイミングに、課外の空手教室に興味を示し、入会することになりました。はじめは、他の子に比べると挨拶もできず、集中力もなく、このまま続けることができるかどうか不安でしたが、ある時、一つの技を完璧に習得してから、本人の気持ちに変化が！そこからみるみる成長し、年長組になった今では、空手を教えられる人になりたいと、張り切って練習に励んでいます。一つのできたが大きな自信に繋がる事を実感した出来事でした。

利他の心

認定こども園

ささめ幼稚園  
宮園亜希子

私が、体調を崩して自宅を留守にしていた時のことです。ようやく帰宅することになった日、三人の子とも達は、「僕が洗濯物を畳むよ。」「私がお皿を運ぶね。」「僕は玄関の靴を並べるね。」「お手伝いを頑張ってくださいました。なかでも二男は、「幼稚園でも自分で出来ることは自分でしているんだよ!」と笑顔で話してくれました。私はその様子に、「幼稚園という学び舎で、利他の心」が育まれているのだな。」と感謝の気持ちで一杯になりました。子ども達の「たくさんできた!」という小さな成功体験を積み重ねていく姿に、力強い心の成長と家族の絆を感じた出来事でした。

ひとつずつ壁を乗り越えるわが子

めぐみの木こども園

中島朋子

年長になる息子は先日、最後の運動会をむかえました。練習前から「おいらい、できない。」と不安をもらし、練習が始まって「覚えてない、どうしよう。」と不安な表情で私に訴えていた心配性の息子でしたが、本番ではニコニコ誇らしげな顔で入場行進を見せてくれました。組体操では険しい顔でお友達の足を持ち上げ、タワーでは一番上で背筋を伸ばして立っている姿に「何度も練習して、自信をつけたんだなあ。」ととても感動しました。何事もまず不安を口にする息子ですが、頑張れば出来るということを経験し、誇らしい顔をしていたことに成長を感じました。これからもたくさん壁を乗り越えて大きく成長していく姿が楽しみです。

## 子育て電話相談 ひとりで悩まないで、まず相談を

子どものこと、家庭のこと、夫婦のこと、  
ご自身のことなど

ご相談についての秘密は厳守します

匿名で結構です

無料です

幼児教育センター(相談専用)

048-863-7811

毎週月～金曜日 午前10時から午後4時 (お盆休み、年末年始を除く)



# 子育てフォーラムの開催について

保護者を対象にした子育てフォーラムは平成6(1994)年に始まり、長い間、途切れることなく毎年開催してきました。令和2(2020)年度から2年間、新型コロナウイルスの感染拡大により開催中止を余儀なくされましたが、昨年度よりようやく通常開催に戻りました。子育てフォーラムは子育てのためになるお話だけでなく、歌あり、音楽あり、笑い(落語)ありと趣向を凝らし、日々の子育ての疲れを癒し、悩んでいるのは自分だけではないという安心感が得られるような、心を耕し、心が豊かになるようなひとときになるはずです。

ぜひ一度、パパを誘って参加してみませんか。もちろん、パパだけの参加も大歓迎です。

すでに実施された地区もありますが、今年度の開催日程は次のとおりです。



## 令和6年度開催日程

	開催日	地区	会場
1	6月13日(木)	武蔵	鴻巣市文化センター「クレアこうのす」
2	6月18日(火)	中部	桶川市民ホール
3	9月3日(火)	埼玉北	久喜総合文化会館
4	9月4日(水)	東入間	富士見市民会館「きらりふじみ」
5	9月11日(水)	比企	東松山市市民文化センター
6	9月19日(木)	東南(草加)	草加市アコスホール
7	9月24日(火)	東部	中央公民館「ウイスかすかべ」
8	9月25日(水)	川口	新郷公民館
9	10月18日(金)	上尾	上尾市コミュニティセンター
10	10月25日(金)	さいたま市 大宮区	レイボックホール「市民会館おおみや」
11	10月30日(水)	東南(越谷)	越谷コミュニティセンター
12	11月21日(木)	児玉秩父	本庄市児玉文化会館「セルディ」
13	11月22日(金)	東上	朝霞市民会館「ゆめぱれす」
14	11月22日(金)	大里	熊谷文化創造館「さくらめいと」
15	12月5日(木)	西武	狭山市市民センター
16	令和7年1月20日(月)	川越	川越市西文化会館「メルト」
17	1月23日(木)	西入間	坂戸市勝呂公民館

大発見して大はしゃぎ

ひなぎく幼稚園 木下 さとみ

二期期のある日、小学校2年生数名の来園がありました。生活科の校外学習「町たんけん」がその理由です。訪れた小学生の中には卒園生がいて、懐かしそうに園内を散策していました。それから職員に用意してきた質問をして、その返答を書き留めていました。この様子を一人でじつと見ていた年長児がいました。私はその子に「小学生になると幼稚園のことを勉強しに来るんだね。」と声をかけました。するとその子は得意げに「もうわかったよ。幼稚園の先生はすごいんだよ。」と言いました。私はその言葉が気になって理由を聞き返しました。「先生たちは大発見するからだよ。あのね、大発見はわあーすごいって大はしゃぎすること。」と答えてくれました。確

かに私は空にある飛行機雲に大喜びしたり、初めて昼間に見える月を見つけた子どもがいるたびに、毎回新鮮な気持ちで驚いたりします。ダンゴムシやどんぐりを見つけた時は、宝物を見つけたように感激して子どもたちと一緒に「しゃいーい」です。それらのことを「先生はすごい」と褒めてくれたようで嬉しくなりました。園生活を過ごす中で子どもたちの気持ちになつてみると、日常の小さな出来事や大きな喜びや楽しさに感じます。これが「幸せ」というものだよと子どもたちから私は教わりました。幼稚園の先生にならなかつたら感じられなかつた「幸せ」です。これから子どもたちと一緒に「大発見して大はしゃぎ」していきたいです。



子ども達が自分で、考えていける環境 まつたけ幼稚園 長島 祐斗

一般企業に勤めていた私は、保育の夢を諦めきれず、仕事を辞め、養成校に入り保育の道へ、夢を叶え現在に至ります。今年度は年長まつ組で担任をしています。4月当初、「先生、次は何をするの?」と私に確認しながら活動を行っている姿が多く見られました。そんな姿を見て、心の中で「子ども達が、自分で考えて行動できるようにしよう!」と思いました。活動の中で、子どもが自分で、考えられるようなヒントを出したり、活動の流れを黒板に書いて「見える化」をしていきました。ある日、1人の子が「もう時間だよ。次の用意だよ」と、友だちに教えている姿がありました。気づいたその子を褒めると、子ども達が時計を見て、次の準備を考えて動く姿が見えてきました。少しずつ子ども達自身が考え、活動をする姿―お部屋を掃除したり、次の保育の準備をしたり―と、「自分で考え、行動する」習慣が、クラス全体に広がっていきました。

私が保育の中で子ども達の自立のために、子どもが考えやってみたことをたくさん褒めることで、他の子どもも「自分もやってみよう!」とチャレンジする姿が増えてきました。その中でも、できたことに注目してあげながらも「チャレンジした!」プロセスを認めた声かけを心がけてきました。声かけの中で「〇〇をやってみようとしたんだね」や「次は〇〇してみたら?」と次につなげていけるようにしていきました。今後の課題として、私の言葉が、子どもにも届ききつていないと感じる時があるのを、伝わりやすい言葉をさらに意識して保育していくことだと思っています。子どもに伝わりやすい「自分自身で考え、行動に向かう」言葉を発信していくことで、自立に向かっている環境をつくれると思います。子ども自身が、将来、自分で考え行動していけるように環境作りを心がけていきます。子どもの20年後に想いを馳せながら、一緒に育ち合っていきたいと思っています。

年中男児の母親です。

同じくらい年齢の子が文字や数字を読んだり書いたりすることを聞いて、少し焦っています。

自分の好きなブロックやゲームなどの遊びは家でも集中して楽しんでいるのですが、文字には興味を示しません。文字に興味をもたせるためにはどうしたら良いのでしょうか。



Question

子育て相談 Q&A

Answer

幼児にとって好きな遊びを夢中になって楽しむということは、とても大切なことだと思います。

今、お子さんが何に興味をもっているのかをお母さんが常に見守り、お子さんの成長の中で今だ、と思った時に楽しく文字や数字に触れ合う機会を作っておいてください。

例えば、幼稚園から毎月持って帰る絵本と一緒に読んであげることによって文字の魅力やストーリーの楽しさを子どもに伝えることができます。また、園では敬老の日のプレゼントとしておじいちゃんやおばあちゃんにメッセージを添えたカードを作ります。先生が書いた文字の上をマーカーでなぞって作るのですが、子どもにとっては直筆入りの特別な作品が出来上がったことに喜びを感じています。

まだ字が読めない子どもでも、図書館や本屋さん、博物館など興味を引き出せそうな新しい環境を訪ねることも子どもが文字への興味をもつ良いきっかけになると思います。

楽しい雰囲気を作りながら子どもの好奇心や、創造性を刺激してあげましょう。それによって文字への興味が自然と芽生えるはずです。

(戸井田 美智代)

## 電話相談件数

(令和6.4~令和6.9)

### 内容別件数 (のべ件数)

園・学校に行きたがらない	1
気になる行動(赤ちゃん返り・性器をさわするなど)	0
自閉症・多動・学習障害など	3
食事に関して	0
友だちに関して	5
幼稚園生活(いじめる・いじめられる・なじめない)	3
言葉(遅い・幼児音・暴言)	3
言うことを聞かない・カンシャクなど	2
排泄について	3
その他	224
合計	244

### 「その他」の内訳 (のべ件数)

夫婦・家庭に関すること	102
保護者自身に関すること	78
幼稚園に関すること	24
親子の関わり方	55
子どもの健康に関すること	10
その他(親同士・習い事・相談機関等)	51
その他の内訳の合計	320

※複数項目にわたる相談のため、その他とその他の内訳の合計は合致しません。

## 子育て電話相談

毎週月～金曜日

午前10時～午後4時

☎048-863-7811

幼児教育センター

## 子育てジャーナルのバックナンバーはこちらから

全埼玉私立幼稚園連合会  
ホームページ

(<http://www.youchien.ed.jp>)

子育て支援 → 幼児教育センター  
を選択

## 幼児教育センターだより

### 夫婦のコミュニケーションと お互いを思いやる気持ち



「子どもと二人っきりで家にいる時間が一番辛かった」育児休暇をとって、ひとり乳児に向き合っていた当時を振り返り、彼女は咳のように言いました。なかなかミルクを飲んでくれない。やつと寝かしつけても、ちよつと

した物音で目を覚まして、しばらく泣きやまない。毎日睡眠不足で何もかも思うように行かず気分は落ち込むばかり。そんな経験をしたママたちは多いと思います。ここ最近になって、父親の育児休暇取得を積極的に促す会

社も増えてきましたが、話題になるほどですから、まだほんの一部のようです。実際に育児休暇をとったパパたちの感想は、「育児がこんなにたいへんだとは思わなかった」という驚きの声と「子どもの成長を間近で感じることができて嬉しかった」という感動の声でした。乳児と一緒に風呂に入ること一つをとっても経験した人しか分からない苦勞があります。なかには、パパは仕事が忙しく、毎日帰宅は夜遅く、育児はもっぱらママ頼みというご家庭もあるでしょう。各ご家庭で子育ての環境

は様々です。夫婦で子育ての役割分担を決めたり、子育て世帯に便利なサービスを積極的に利用したりして、できるだけ負担を軽くする工夫をされています。そして、何より大切なのが、夫婦のコミュニケーションとお互いを思いやる気持ちです。ママが食事の用意で手が離せない時、パパが子どもを見てくれるだけでもとても助かると思います。パパのちよつとした気遣いが、とても嬉しく思うでしょう。幼児教育センターの相談のほとんどはママからですが、子育てにつ

いてのほか、ご自身のことなど、今まで口に出せずひとりでモヤモヤしていたこと、辛い思いや、悩み、不安を抱えているママも少なくありません。最初はちよつと勇気がいるかもしれませんが、お話を聞かせてください。子育てで一番辛いのは「子育て」だと思います。辛くなったら、ひとりで悩まないで、どんなことでも相談してください。誰かに聴いてもらうことで思いのほか心が軽くなるものです。新たなきづきもあると思います。匿名で結構です。皆さんからのお電話をお待ちしています。

### 編集後記

9月21日から23日にかけての記録的豪雨により石川県能登地方は、河川の氾濫や土砂崩れによる家屋流失で多くの犠牲者と行方不明者が出る大規模災害に見舞われました。元日の地震により避難を余儀なくされ、ようやく入居できた仮設住宅も浸水被害に遭うなど「何で自分たちばかりこんな目に遭わなければならないのか」という悲痛な声に胸が締め付けられる思いです。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに行方不明者の一日も早い発見を心よりお祈り申し上げます。